

ほおじまかいが
【18】 朴島海岸

1.概要

朴島は塩釜市松島湾内にある浦戸諸島の最も北に位置する周囲約 2 kmの有人島である。

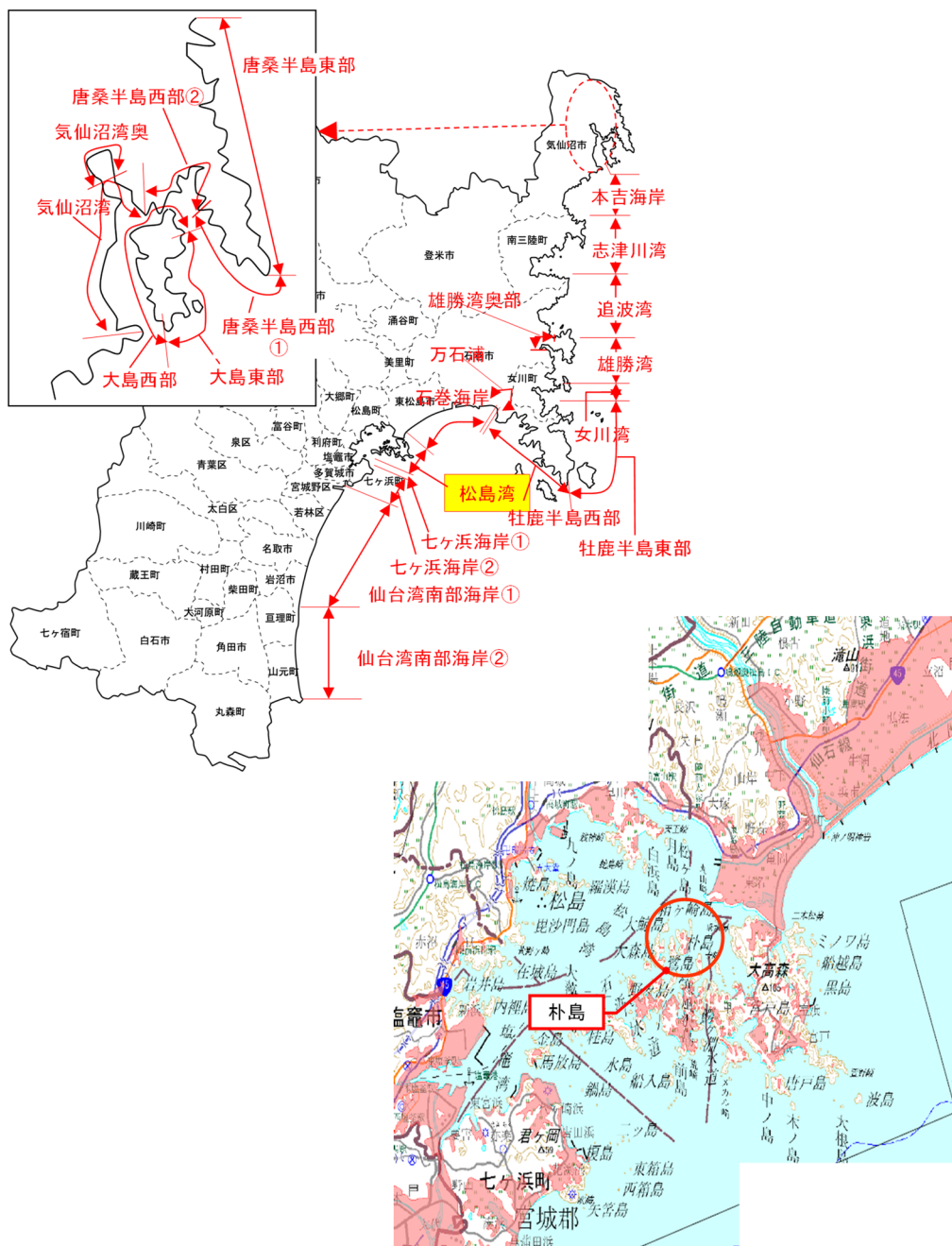


図 4-18-1 位置図【朴島海岸】

2.震災後の状況

(1) 被災前後の状況

朴島島内は、地震の津波により堤防の崩壊、侵食、沈降、陸間の被災、地盤沈下による堤内地の湛水等の被害を受け、集落も大きく被災した。

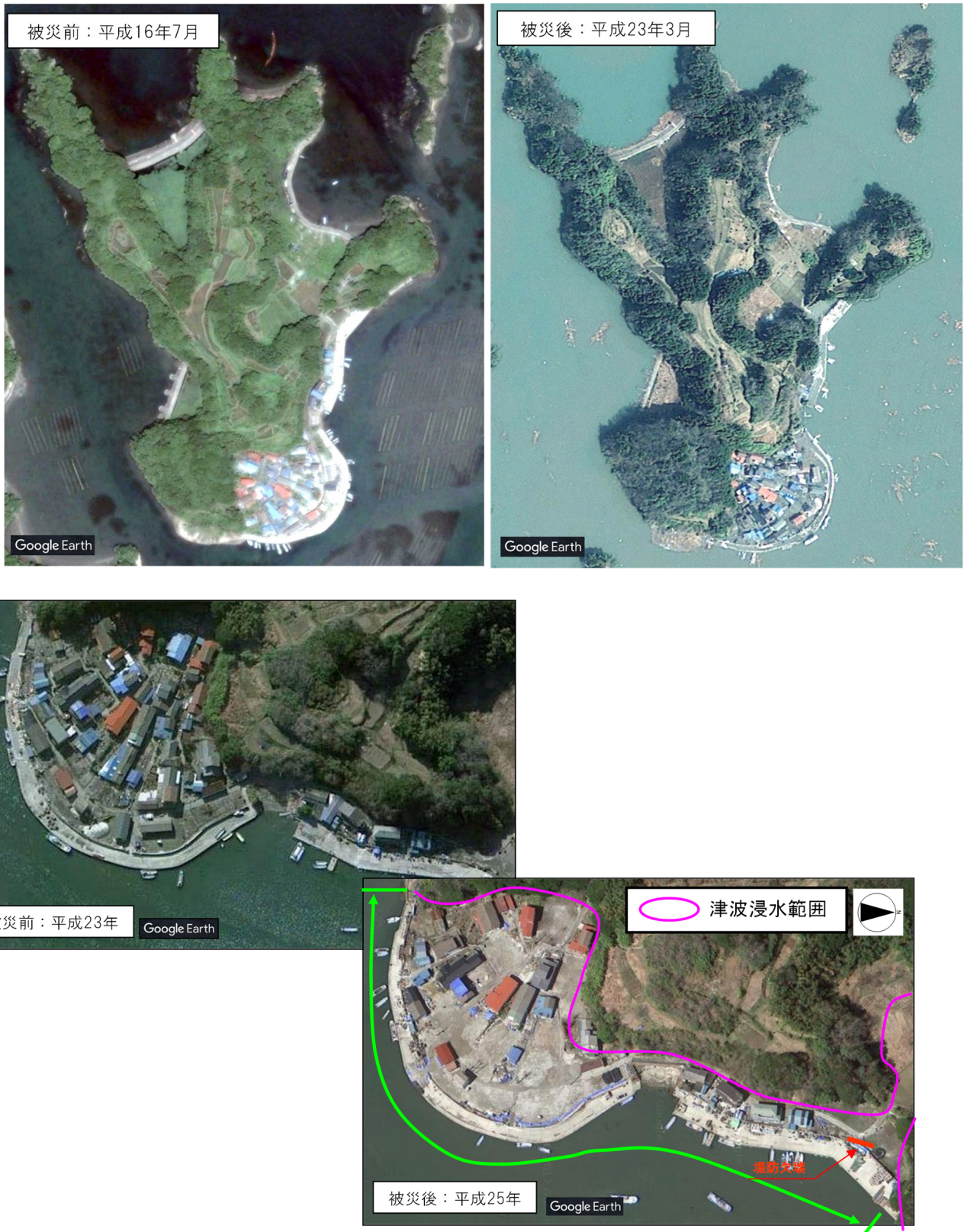
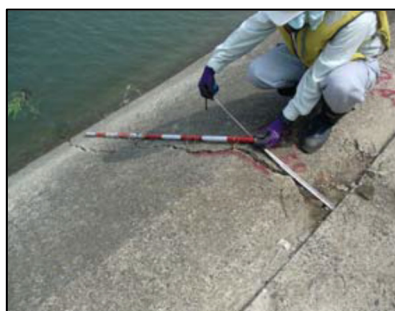


図 4-18-2 震災前後の朴島の状況【朴島海岸】

(2) 被災状況



図 4-18-3 被災状況【朴島海岸】



クラック（朴島1海岸）



目地開き（朴島1海岸）



地盤沈下による堤内側の湛水
（朴島4海岸）

写真 4-18-1 被災状況【朴島海岸】

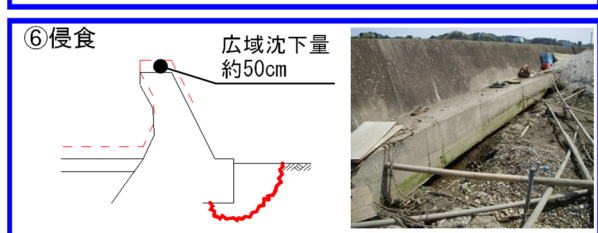
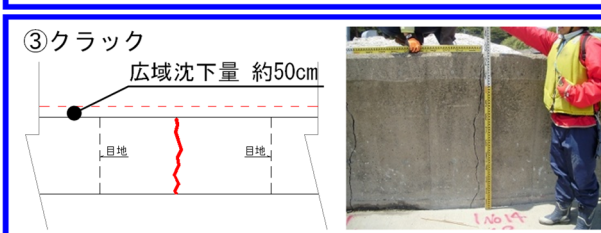
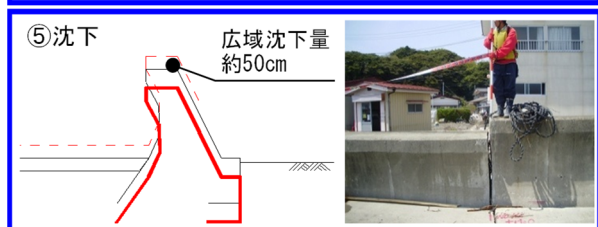
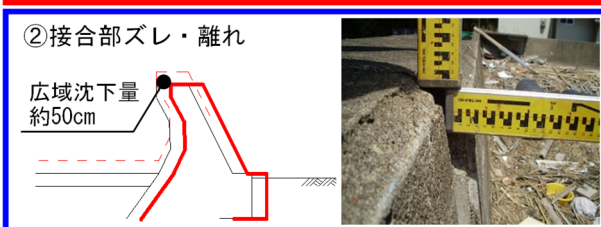
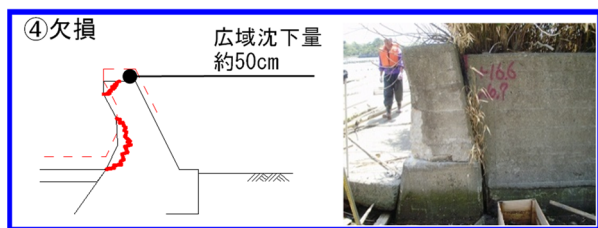
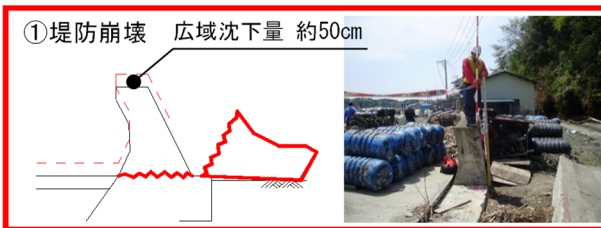


図 4-18-4 被災状況【朴島 2 海岸】

3.復旧計画

(1) 復旧方針

【朴島1海岸】

- ・堤防法線は、現況堤防背後が広域地盤沈下により浸水しており土地の利用が無い状態であるため、施工性を考慮して現況表のりを固定した引き堤とする。
- ・堤防構造は、広域地盤沈下分の嵩上げであるため、現況堤防構造を踏襲する（表のり被覆工：自然石張り、天端保護工：コンクリート被覆、裏のり被覆工：コンクリート被覆）。

【朴島2海岸】

- ・堤防背後に住宅が存在し、現地再建となるためL1津波に対応した復旧とする。
- ・堤防の構造形式は、背後の土地利用を踏まえ原形どおり直立堤構造とする。
- ・法線は、利用形態を踏まえ用地買収を伴わない現位置での復旧を基本とする。
- ・基礎構造形式は、原形どおり杭基礎構造とする。

【朴島3海岸】

- ・堤防法線は、現況堤防背後が広域地盤沈下により浸水しており土地の利用が無い状態であるため、施工性を考慮して現況表のりを固定した引き堤とする。
- ・堤防構造は、現況堤防に裏腹付嵩上げを行い、所用の天端高を確保する。現況の表のり被覆工を利用するため、堤内側に腹付盛土を行う。

【朴島4海岸】

- ・堤防法線は、現況堤防背後が広域地盤沈下により浸水しており土地の利用が無い状態であるため、施工性を考慮して現況表のりを固定した引き堤とする。
- ・堤防構造は、広域地盤沈下分の嵩上げであるため、現況堤防構造を踏襲する（表のり被覆工：自然石張り、天端保護工：コンクリート被覆、裏のり被覆工：コンクリート被覆）。

(2) 工事概要

【朴島1海岸】

- ・復旧延長 L=182.1m
- ・傾斜式堤防 L=182.1m
- ・排水樋管（φ450mm） N=1基
- ・復旧堤防天端高 T.P.+4.3m（L1設計津波の水位）

【朴島2海岸】

- ・復旧延長 L=414.8m
- ・直立式堤防 L=414.8m
- ・陸間 N=3基
- ・復旧堤防天端高 T.P.+4.3m（L1設計津波の水位）